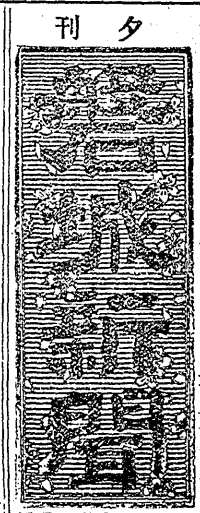
夕刊



十一月二十七日發行

定價 一部金六錢 一箇月金五錢 郵稅共金拾錢

發行所 磐城新聞社

東京振替口座 一〇八・五六五五番

（日曜祭日發刊）

天氣豫報

今晩　北西の風晴
一時曇
明日　北西の風晴

童話

夜汽車

大塚恭子

〔下〕

あげるやうなものと云つては正雄がもう三度も讀んで今度も汽車の中で讀まうと思つて持つて來た『乃木大將傳』と云ふ、三年生になつたお祝ひに今年の春叔母さんが下さつた本だけでした。

『おぢさん、これ上げやう』と正雄が差出すと

『仲良しになつたしるしだね、――有難う。――はゝこんなむつかしい本を讀むの、坊や』

『假名が横に書いてあるからむつかしくないよ』

『さう、ねらいね。さあ、おぢさんも何かあげやうかな』

と海軍さんはポケットのあちこちを探してゐましたが、やがて小さい立派なシャープペンシルを出しました。

『これ、おぢさんが競泳に勝つた時に御褒美に貰つたんだよ。これを使つて坊やしつかり勉强するんだ』

お父さんがあはてゝ云ひました。

『そんな立派なものはいけません。貴方がせつかくいただかれたものを――』

『いや、いゝです。自分等の第二世がゐると思へば、すつかり嬉しくなりましたよ』

それじやあと云つてお父さんは自分の荷物の中から家へ持つて歸る筈だつた田舍のお土産を持つて來て、海軍さんにあげました。

正雄はしつかりとその冷たいペンシルを握つて、眼をきら〳〵輝かせて云ひました。

『おぢさん有難う。僕一生懸命で勉强します』

海軍さんとお父さんは、互ひに名刺を交換して、正雄は今のペンシルで、お父さんの名前の横へ正雄と書き入れました。

たう〳〵次の停車場へ來ました。降りて行く海軍さんを、お父さんと正雄は、出入口まで送りました。

『さよなら正雄君、わらくなつて下さい』

『はい、僕一生懸命やります。どうも有難う。おぢさんさよなら』

『又大阪の方へいらしたら是非お寄り下さい、お待ちしてゐます。さよなら』

とお父さん。

汽車は傳き出しました。

『さよなら』『さよなら』

正雄は手をふりました。

海軍さんはプラットホームでにこ〳〵しながら舉手の禮で見送つてゐました。

海軍さんも、プラットホームも、すつかり見わなくなつて、もとの席へもどつて來ても、正雄の瞼れ〳〵した頭の中には、秋の夜明けの、冷たいプラットホームに立つて舉手の姿をしてゐる海軍さんのの姿が、いつまでもいつまでも殘つてゐました。（をはり）

時雨

河越百代

○こほろぎのひとつ啼きをり夕づきて陽ざしうするゝ林泉の草生に

○蒼澄みて滿ちし水にうつりたる雜木のもみぢ葉をふらしをり

○時雨のあめ降りてひそびし林泉の木立の奥に灯はともりたり

○蓋たけて湯室しづけし盜そとに羊齒の枯葉のさゆらぎにつゝ

炎旱

珠雲　小野務平

赫灼七旬枯百泉
千郡萬蹊夢難圓
朝來山霧不成雨
日午何堪炎熱天

△鄭懋上人寂す（弘長二）△南京で11月8日――中央政權樹立促進の体代表大會開催（昭和三）

振袖横町

須藤鐵一　荻原萬象畫

（88）

當時の事件（三）

斯うして柳澤の謀策は着々と効を奏し綱吉の心を籠して行つた。

その年の十月のことである。將軍家は輕い病氣になつた。勘壯の面々驚き騷いだが典藥頭は御脈を伺ひ輕い病症であれば差ある事もないと思つてゐた。

ところが柳澤は牧野に對ひ、

『此度の御病症今は輕きやうに洩らせ給へと御若年より御學問にのみ凝らせられ御懇症遊ばせられんもかかり難し……。未だ御若嗣もましまさねば別して御大切の御身体なり、某つら〳〵典藥等を見るに、昔の大略藥三、半弁驗庵か如き名醫無く、依つて、典藥の詞信じ難し。護持院僧正に是館林に渡らせ給ふ時より歸依深く且つ殺生の術に達せ不思議の名僧なり然らば此度の御祈禱を仰付切て然る可くと存じ申すが……。』

と云つたので備後守も同意して護持院を御召あれば豫て柳澤が內通してあつたので早駕籠にて登城し、御寢殿へ罷出御病体を拜し、暫らく考へ大に驚き、

『此度の御不例は至つて重き御事なり、其故は先年愚僧言上せし通り將軍家には成の御年にて滅らせ給ひ右馬頭樣と申せし故天理を以て天下の主とならせ給ふ御年なれば無益の殺生を禁じ給ひ別して犬を勞り候樣勝をしなくたつて全快するに遊ばされなば御病氣全快ひきまつてゐる。迷つてゐる疑ひなし……。就て愚僧七日の齊を仕り大法を修し將軍家は一圖に護持院の祈候はゞ立所に驗を顯はし奉らん』

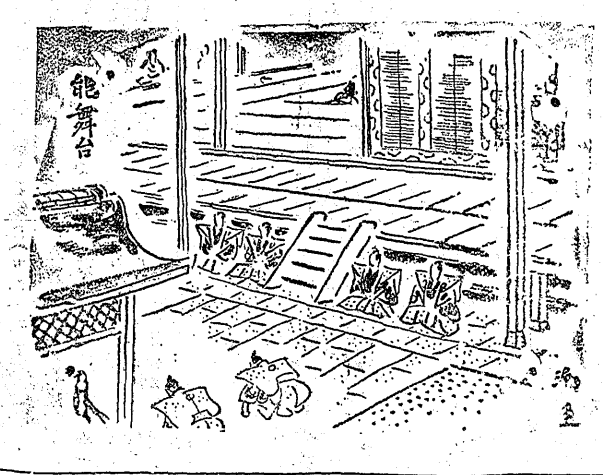
と言上して退出してしまつた。

綱吉も信じ切つてゐる護持院僧上のことであり、それに依り白銀千枚を下され、そ論。以後御寄あらば遠慮なく言上可き旨仰渡されたのつた。

柳澤美濃守が、褒め千の通りであるので將軍家もかやある。

それで、將軍家のこの樣なので、奥女中などの事であると考へたので早速御老中列座にて牧野備後守上意の趣き申渡し無益な有樣なので、奥女中などに生傷の樣に思ひ少しの殺生堅く禁制たる可し別して犬を大切に致すべき旨日々に參詣する。

元來此の坊主は柳澤と合体してゐることであれば、下女婢の者までも奥女中と言へば種々と饗應した。



しからぬお布令だと私語者が多くなつた。それは當然の事だらう。魚屋が荷を下して、商賈をしてゐる所への酒の相手に出したのだか野良犬が出て來て魚をくわらへ出すのを天秤棒でぶんなぐつたら、忽ち捕へられて入牢と言ふのだからたまつたものではない……。後には犬公方の影口さへ言ふやうになつた。

扨て、護持院は御祈禱に掛つたので御母公を始め奉り御台所より日々の使ひに白銀黄金巻物等山の如く下されるし、牧野、本庄、柳澤よりも白銀三十枚宛賜つて來る。

然るに折節く四五日にて御全快になつた。

これは當然のこと、そんな重い病でもないのだ、祈

その上、日雲坊、月雲坊が多くなつた。それは當然と云ふ二人の美僧を抱へて置いて、男珍らしい奥女中して、商賈をしてゐる所への酒の相手に出したのだか野良犬が出て來て魚をくわらへ出すのを天秤棒でぶんなぐつたら、忽ち捕へられて入牢と言ふのだからたまつたものではない……。後には犬公方の影口さへ言ふやうになつた。

扨て、護持院は御祈禱に掛つたので御母公を始め奉り御台所より日々の使ひに白銀黄金巻物等山の如く下されるし、牧野、本庄、柳澤よりも白銀三十枚宛賜つて來る。

然るに折節く四五日にて御全快になつた。

これは當然のこと、そんな重い病でもないのだ、祈

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價
一變せる勉强振りを、せひ一度お試を乞ふ
織田材木商店へ
福島縣平市
電話一平四六〇番
營業……建築木材一式
目……秋田產杉四分板、ベニヤ板
建具材・假利瓦

◎小店員募集　年齢十五歳ヨリ廿歳迄

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

實用新案第一八七四三〇號
意匠登錄第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な「かまど」は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が强く堅牢で火の元絶對安全！御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たすゝめ致したい新製品で御座います。
和洋銅物金物問屋　釜屋商店
平市五丁目

實株は買ッテ御手元へ
必ヅ儲カル優良株
投資指針
目下投資時代
富岡株式店
平市四丁目三十三
電話一九一

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
マルミ粉末石鹼
製造元　平市材木町一一

男女
車掌募集（三名）
1、年齢十六才ヨリ十九才マデ
2、未經驗者ニテモ可
3、給料其他ハ委細面談
合名會社　平四倉乘合自働車
平四丁目　電五九四

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）
「入院のお留めに應ず」
（看護婦及び見習看護婦募集）
歯科口腔外科
日本歯科醫學士　鈴木政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

おでん
お酒のあとに
おけさめし
おでん茶めし酒の家
味郷
平市三田小路（三丁目裏）

純綿利用加工時代！
染め物は
質實と技術の優秀を誇る
迅速
町噂
吉田屋染工場
平市五丁目
電話五五八番

旅館
大華館
東京上野驛前
下谷郵便局横通角
電話下谷局六七七番
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄

診療
內科
胃腸病科
性病科
皮膚科
專門
性病科皮膚科醫院
（平市田町一〇七番）
（見習看護婦募集）
夜間

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六
命運の代一てみの前名……るかわもてん何
体力　肉体（健康、不健康、相貌）
疾病（病根病勢　病名）に關する一切
活動　職業（適業、不適業）
天運（天運、成功、不成功、炎厄）に關する一切
血緣　家族運（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無
男女緣（無質、相性、相剋、晩期万位に關する一切）

銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名鑑定項目

重田眼科
平驛前通り　元貯蓄銀行附
眼科一般
眼鏡檢定
醫師　重田景治
平市田町一番地

吸入用酸素
呼吸困難治療として早くおすゝめ下さい
流行感冒豫防に
（マスク）各種あります
病氣豫知に
（體溫器）各種あります
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

銘木
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價
一變せる勉强振りを、せひ一度お試を乞ふ
織田材木商店へ
福島縣平市
電話一平四六〇番
營業……建築木材一式
目……秋田產杉四分板、ベニヤ板
建具材・假利瓦

◎小店員募集　年齢十五歳ヨリ廿歳迄

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

月曜論壇

節季と市内商人、

各方面に於ける購買力の異常な膨力は、寧ろ善良なる商店の自粛を躍進ばす勢を示し、市内に於ても既に表面化せぬ年末の案外活潑な動きが局部的に豫想される程である。そこで當然盛平保健所では、厚生省の要念される、公明を欠く一部求職算一千萬圓に對する大商人の蠢動で援らば購買者藏省の査定が刮目さるゝに納得を以て己が非違を我先だち國民保健管理法實施と公正化し時に埒を超ゆの準備として此程郡下植田收金を敢てする場合無き鹿島、神谷の一町二ケ村に識せぬ程に全治した者にも未だ以て測り知るべからず於ける十四歳以上二十歳以此種の反應あるもので、陽ざるものがある。幸にして下の男女若干名に就き、結性を以て直に感染したと思昨今經濟警察陣容の擴充强核病に對する各自の健康狀ひ込むが如きは恐にもつか化があり、一般商人の良心態を發出するマントウ氏ツ不斷の面道顯撞が加へらベルクリン皮下反應注射を、その跋扈跳梁は大体 試みた處其の成績陽性者三の試驗が行はる場合ある於て則滅すべきを樂觀さるる六%で既報磐中生千百餘名べき今日豫め心得置くべきるが、明朗の反面をなす除に對して行つた三二%よりであると

管理法の實施準備に
地方青少年健診 實施
既に三町村の成績判明

一割强の高率を示し、其の(四日)田町(五日)仲間町(六日)矢玉町、鎧道官舎(七日)南白銀町(八日)猛賞授與式を挙行した

(六日)北白銀町(七日)上中、下平窪＝醫師重田長次

。。。